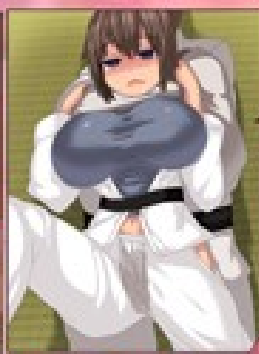


相談に乗ってくれた姉ちゃんに 中出し孕ませ生活！

「どうした？相談に乗るぞ」



←これが

こうなります→



「頼みがあるんだけど・・・」
「どうした？」



「ここではちょっと・・・姉ちゃんの部屋に行っていない？」

「おう、いいぞ」

自分が通っている道場の女の子、自分より年上の姉ちゃん
子供の頃に体力をつけると親に言われて嫌々入門したけど
姉ちゃんが面倒を見てくれたおかげで続けられている



昔から頼りになる姉ちゃんだ
今日も頼みを聞いてくれるはず

「んで、話ってなんだ？」
「あのね」



「やらせてくれないかな」
「は？」



「だからその、童貞卒業したいんだけど。。。」

「.....」

「・・・ば、ばかやろう！何でわたっ、おまえ！」
（私だってまだ経験ねえってのに）



「こんな事を頼めるの姉ちゃんしかいないんだよぉ頼むよぉ」
「うぐっ・・・」

「・・・しょうがねえやつだなあ」
「えっ、いいの？」



「だっておまえ・・・したいんだろ？」
「やったー」

「でも文句言うなよ、言ったらぶつぞ」

（ダメもとで頼んでみてよかった〜）

(AVで見た事あるけど、これでいいのか?...))

グロウ...

ドキドキ

「俺本番が良いんだけど」

「うっ、順序ってのがあんだよっ!」



(とうかなあ。。。)





(精液ってこんないっぱい出るもんなのか・・・見たのと違う)
(ドロドロでくっせえ臭いだな)

「それにしても早すぎねえか？」
「ご、ごめん」
「?・・・いや別にいいんだけどよお」



「やべえエロすぎて勃起してきた」

（おいまでよ、まだ全然でけえじゃねえか……）

「こんな挿入のかよ……」

「ん？なんか言った？」

「なんでもねえよ、もうっ！」

「？」



(うぐう・・・無理やり押し広げて挿ってくる・・・)

グググ...

キキキ...

グググ...

ズズズ...



(け、けっこう苦しいな……)



んっ
んっ

んっ

んっ

(さっさと終わってくれ……)

ズ
ッ
ッ

ズ
ッ
ッ

グ
ッ
ッ



「まったくこんな出しやがって・・・良かったかよ？」

「すごく気持ちよかった・・・姉ちゃんありがと・・・」

「おう」（ヒリヒリする・・・）

ふふふー……

「初めてが姉ちゃんんで俺すげえ嬉しいよ」

「お、おう？そうか？まあ、お前が満足ならその

こっちも悪い気はしないな・・・えへへ」

ビュ
ブー……

コ
ホッ
コ
ポッ



(・・・調子こいて中出しさせちゃった。

今日は確か大丈夫な日だけど、こんな出されて本当に大丈夫なのか?)

ん~~~~~



数時間後

風呂からあがり身体を拭く、今は自室で1人
ったくひでえ目にあったぜ・・・
でも、あいつももう子供じゃないんだな
昔はあんなに小さかったのに今じゃ



・・・

思い出したらちよっとムラムラしてきた

(アイツの堅いのがここに・・・)
(ああ指で届かない・・・んんん)



(イキそうなのに・・・もっとゴリゴリして・・・)
(こんなのじゃ・・・)





「借りてた漫画返しに・・・あっごめんオナニー中だったのか」
「ば、ばかやるうっ!」



「ごめんで、殴らないで」

「あと明日もまたやりたいんだけど」

「・・・」

「ほ、ほらっ、姉ちゃんも日頃の練習が大事ってよく言ってたでしょ？」

「それとこれとは・・・」

うん……

「・・・まあ、そうだな、いいぞ」

「わーい」

「その代わり今度からちゃんと外に・・・ってもう行きやがったか」



翌日

(ムラムラして眠れなかった……)

「じゃあ挿れるよー」

「おう……」

(だめだ……身体がコイツのをぶちこまれるの期待しちゃってる)









(くぁ・・・きもちよかったぁ・・・あっ)

「また中に出しやがって、孕んじまったらどうすんだよ」

「へっごめん姉ちゃん」

「ったく・・・んっ・・・出しながら奥を小突くんじゃねえ
ほんとに反省してんのかよ・・・」

ちゃんと言わないと止めないだろうな・・・でも気持ちいいし
・・・いやいや！ちゃんと言おう！次はちゃんと言おう、うん



目課の稽古

「ギブしないの？」

「だ、だれが……」

200

ググ

タ
バ
コ

ん

ガッ!



（もう力じゃ勝てねえな、でも簡単に負けるわけにはいかねえ）

(んっ……私の尻にコイツのが当たってる……)



(これが私の中に挿ってたんだよなあ……いかにいかに、集中しなきゃ)

「姉ちゃんそろそろギブアップした方がいいんじゃない」

「**まだまだ**……」

「強情だなあ」



「(まだまだ負けるわけには……ああ……今日もシたいなあ……)」

落ちた

ハガッ

ちん

ムンムン

「粘るねえ・・・あれ？姉ちゃん？」



「ごめん・・・」

「だから謝るなって
ギブアップしなかった私が悪いし
そんなしよげんなよ」

「うん・・・」

「図体ばかりでかくなって中身はあいかわらずだな」
「・・・」



「・・・やりたいのか？」

ギクッ

「そりゃ乳を勝手に揉んで
堅くなったもん押し付けられたら分かるだろ」
「ごめん、目の前にあるからつい・・・」

モニッ

ムニッ



「まあ……仲直りって事でその……うん？」
「一」



「ありがとう姉ちゃん」









「はあ・・・気持ちよかった・・・姉ちゃん好き」
「おう、よしよし」

(甘える時は昔と変わらねえな)

ギュ〜...

それから暇をみつけてはねだられて

「姉ちゃん、俺もう我慢できないよ」

「脱ぐまで待てないのかよ、まったくもお」







(・・・つくう
この体勢だと一気に奥まで挿ってきやがる・・・)







「こっちは・・・イってんだから・・・
射精しながらガン突きすんなよ・・・ひぐっ・・・」

「ごめん、えへへ」
(こんなのハマっちまったらどうすんだよ・・・)



「ねえねえもう一回させて」
「うーん・・・」

(断れなかった……)

クチュ……

ん……

グイッ
ッ

(や、やっぱりまずいよな)

「あ、あのさ……えっと……せめて出す時はちゃんと外に……」





「おま・・・はなしをお・・・ぐう・・・」
（だめだ、腰振るのに夢中で聞いてねえ）

（あっあっ・・・ちよつと乱暴だけど・・・イイ所ゴリゴリえぐってくる）





(うぐっ、こいつ・・・逃がさないようにガツチリ掴んでる・・・)



(出したのが漏れないようにケツ持ち上げてるし全部私の中で吐き出す気かよ)

「だから中に……って、疲れて寝てんのか？」

（こんなじゃあデキるのも時間の問題だぞ、言う事は言わなきゃだな）



この目以降も性欲が収まる事は無く毎日のように身体を求められた
断れない自分も自分だが、このままじゃいかなあ……

この間なんてひどかった
私が寝てる間にパンツ脱がしやがって
そのまま・・・





「あっ、姉ちゃんおはよう」
「……ん!?」



「!?」

「こ、こらっ! こういう事しちゃだめだる!」
「大丈夫姉ちゃんにしかないから、それに」

「姉ちゃんが起きる前にもう5回くらい出しちゃってるから」
「全然大丈夫じゃねえじゃねえか……」



「起こしに來ただけなんだけど
無防備に寝てる姉ちゃんを見たらつい」

「私はお前のオモチャじゃねえんだぞ」





「お前なあ……いつまで出してんだよ、さっさと抜け」
「ごめん……」



「もうちょっとで出し切るから待って？」
「はあく気持ち良すぎてすげえ出る」
「ほう……」

この後ポコポコにした

そんな目々を送ってたので

「毎日出されてそりゃデキるよなあ」



「え？めっちゃ嬉しいけど？姉ちゃん嬉しくないの？」

「そ、そういう意味じゃ……。ばかっ……」

こ
こ



「これからは『姉ちゃん』ってわけにもいかなえんだからな？」

「はい、もちろん責任はとります」



（そういう事を簡単に言うんじゃないよ・・・照れるだろ）
「まあでも、しっかりしてくれりゃいいよ、うん」

「えへへ、じゃあ妊娠記念に一発やらせてください」

「。。。」



この後めちゃくちやポコポコにした

































